

Minami Kyushu University Syllabus

| | | | | | | | | | |
|--|--|---------|----|------|-------|----------|---|------------|---|
| シラバス年度 | 2022 | 開講キャンパス | 都城 | 開設学科 | 園芸学専攻 | | | | |
| 科目名称[英語名称] | 造園計画特論 I [Advanced Study of Landscape Planning and Design I] | | | | 授業形態 | 講義 | | | |
| 科目コード | 642521 | 単位数 | 2 | 配当学年 | 1 | 実務経験教員担当 | ○ | アクティブラーニング | ○ |
| 教員氏名 | 関西 剛康 | | | | | | | | |
| 授業概要 | 高度に進歩し多様化する緑環境の社会資本において、造園学における造園計画の展開は、その課題解決に必要とされている。造園計画の学域は、園芸学・工学・美学等を横断しており、さらに歴史・文化の基盤上にも成立している。そこで本授業では、先進事例のランドスケープ・プランを取り上げ、造園計画の理念から手法までの計画論を学び、その高度な専門的知識と技術の修得を図る。 | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 「造園計画特論Ⅱ」「東洋庭園学特論Ⅰ」「東洋庭園学特論Ⅱ」「造園計画特別演習」 | | | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施する。毎回の授業構成は以下のとおりである。 ①授業前半は、講義を行う【学術・知識のインプット】 ②授業後半は、グループ学習・ディスカッションや課題発表（問題解決学習・プレゼンテーション）等を行う【学術・知識の醸成とアウトプット】 | | | | | | | | |
| 授業計画 | ガイダンス (造園計画特論 I の概要説明と心得を行う) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画の基礎的理念について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画の変遷と展開について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のプロセスについて学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のエレメントについて学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のベーシック・メソッドについて学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のテクニック(庭園空間編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のテクニック(緑地環境編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のテクニック(まちづくり編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter1 造園計画における先進的なメソッド (造園計画のテクニック(マネジメント編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter2 造園計画の先進的な研究と応用 (造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(庭園空間編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter2 造園計画の先進的な研究と応用 (造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(緑地環境編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter2 造園計画の先進的な研究と応用 (造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(まちづくり編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| | Chapter2 造園計画の先進的な研究と応用 (造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(マネジメント編)について学ぶ) | | | | | | | | |
| 造園計画特論 I の纏めと今後 (次世代における造園計画の方向性について学ぶ) | | | | | | | | | |

| | | |
|---------------------|--|---------|
| 学位授与の方針(DP)との 関連 | 1. 専門分野に関する知識・技能と教養 | 修士課程DP1 |
| | 2. 人間力、社会力、国際性の涵養 | 修士課程DP2 |
| 授業の到達目標 | 専門的な知識を理解したうえで、社会資本としての造園計画についての基礎および最新の知見を修得することを到達目標とする。 | |
| 授業時間外の学修 | 1. 授業で配布する学術論文ならびに専門図書等を授業前に精読しておくこと。 2. 授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。 3. 大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。 4. 予習復習は1時間程度行うこと。 | |
| 課題に対するフィードバック | レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。 | |
| 評価方法・基準 | 発表・研究した内容に関するレポート(100点) | |
| テキスト | テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。 | |
| 参考書 | 1.『ランドスケープ研究』日本造園学会 2.『ランドスケープ研究作品集』日本造園学会 3.『ランドスケープデザイン』マルモ出版 など | |
| 備考 | | |